

スマート水産機械導入利用支援 機械等登録申請書への記入説明

1 申請機械等の分類

『環境観測機器、遠隔式魚群探知機、多機能自動給餌機、魚体計測装置、飼育管理システム、水中ドローン、その他』から、選んで下さい。

『その他』を選んだ場合は、例えば『その他(自動網洗い装置)』等、具体的に書いて下さい。
(複数選択可)

2 対象漁業種

記載の中から、選んでください。(複数選択可)

3 助成要件番号

以下(1)～(3)の何番に該当するか、番号を選んで下さい。

- (1)漁業において、水温、塩分、潮流、漁獲量、入網状況等のデータや漁海況・操業データ等を収集・活用し、操業の効率化や省エネ・省力化といった生産性の向上のために活用するもの。
- (2)養殖業において、水温、塩分、潮流、養殖魚の摂餌状況等のデータ等を収集・活用し、養殖生産物の生育状況・環境の把握、給餌量の調整及び最適化など、生産活動の効率化や省エネ・省力化といった生産性の向上のために活用するもの。
- (3)その他、ICT、IoT等の先端技術を活用し、水産資源の持続的利用と水産業の持続的成長の両立の実現に資するもの。

4 機械等導入による効果

機械等を導入することによる受益者側の効果について、該当する項目欄にチェックを入れ、具体的な内容を可能な限り数値等も用いて記載してください。(複数選択可)

記入例：省人・省力化○削減、省コスト○削減、漁場改善：養殖魚の摂餌状況に応じた給餌停止による無駄餌の削減○削減、環境負荷の低減が図れる、等

5 対応可能な通信会社

データ通信機能がある場合、対応可能な通信会社(NTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天)を選んで下さい。

その他の通信会社も対応可能な場合は、具体的に書いて下さい。

データ通信機能が無い場合は、『通信機能無し』を選んで下さい。

6 通信モジュールのメーカーと型式

データ通信機能がある場合、使用している通信モジュールのメーカーと型式を書いて下さい。

7 商品名(機械等名)

申請機械等の商品名を記載して下さい。

別に示すカタログ様式の『商品名(機械等名)』と一致させて下さい。

型式が異なっても、商品名が同じなら、1枚の申請書にして下さい。

8 型式(規格)・メーカー希望価格

申請する型式(規格)と希望価格(円、税抜き)を記載して下さい。

同じ商品名で、型式が複数ある場合は、型式とそれぞれの希望価格を列記して下さい。

9 付属品(型式)・メーカー希望価格

標準仕様以外の付属品(オプション装備)がある場合は、付属品の型式を記載して下さい。

付属品が複数ある場合は、付属品とそれぞれの希望価格を列記して下さい。

10 製造会社名

製造会社名を記載して下さい。(押印不要です。)

11 代表者役職氏名

製造会社の代表者の役職氏名を記載して下さい。(押印不要です。)

12 販売担当者役職氏名

機械等登録後の当会からの連絡窓口、購入希望者からの連絡窓口担当者(販売代理店が複数の場合は主な代理店の担当者)の役職氏名を記載して下さい。

13 販売担当者住所

上記担当者の部署の住所を記載して下さい。

14 販売担当者電話番号

上記担当者の電話番号を記載して下さい。

(携帯電話に連絡しても良い場合は、その番号も記載して下さい。)

15 販売担当者アドレス

上記担当者のEメールアドレスを記載して下さい。

16 他の必要経費例(円、税抜き)

上記価格以外に、納品に必要な費用(運賃や設置費等)やシステム利用料(データ管理料等)がかかる場合は、『例えば〇〇県内に納品の場合、他に運賃〇〇円程度必要』や『設置工事費〇〇円』、『システム管理料〇〇円/月』等と、記載して下さい。

17 提供・販売実績

今までの販売実績を書いてください。(例：全国約100台、国内外約200台、等)

型式が複数ある場合は、合計実績を書いて下さい。

新製品の場合は、『令和5年〇月販売開始(予定)』等と書いてください。